

# 農空間

第52号

発行所  
福島県農林水産部  
農村計画課

## ふくしま 水土里の防災力アップ運動

平成23年の東北地方太平洋沖地震により決壊した藤沼湖の教訓を踏まえて、地域ぐるみで防災力を高めていく県民運動「ふくしま 水土里の防災力アップ運動」がスタートします。

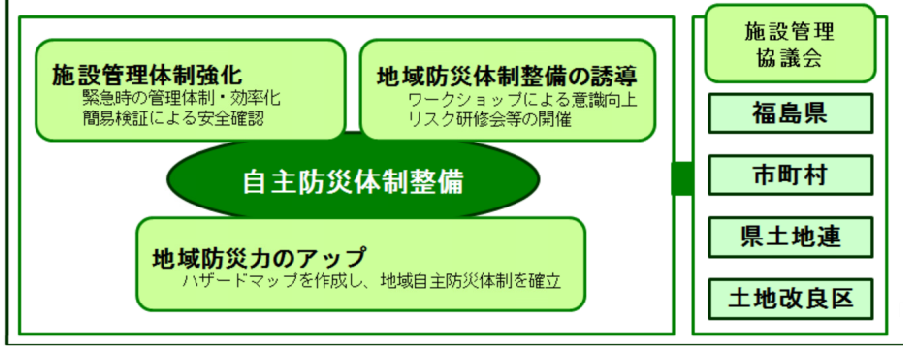
### 災害に強い農村地域を目指して

この運動は、新たな時代に対応した「本来の」地域防災力を高めるものであり、福島県施設管理協議会を推進母体として、農業水利施設における管理体制の強化や、地域が一体となった防災体制整備に取り組めます。

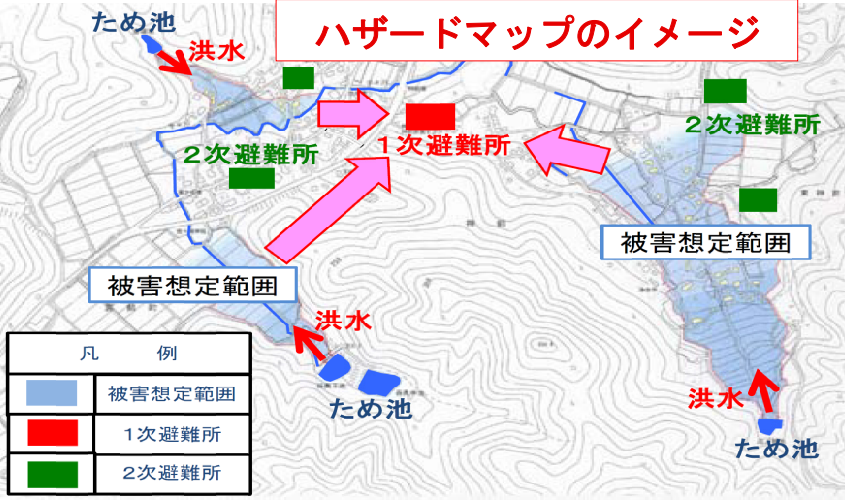
具体的には、農業用ダム・ため池の「耐震性検証」、ため池の効率的な「管理マニュアル」の普及、ため池等が万が一決壊した場合の「浸水想定区域図」作成などを契機として、運動の機運を高め、地域の特色を生かした運動の展開を促進します。

【農地管理課】

### 水土里の防災力アップ運動のイメージ



### ハザードマップのイメージ



### ふくしま復旧便 — 県内からのお便り —

#### 平成23年7月新潟・福島豪雨災害の復旧進む

##### 南会津

未曾有の大被害となった東日本大震災と原子力発電所事故からは、比較的被害を免れていた南会津農林事務所管内でしたが、平成23年7月29日～30日、豪雨に襲われました。特に只見町では時間雨量69.5mm、24時間雨量517mmの観測史上最高の雨量を記録しました。

この豪雨による農地・農業用施設・集落排水施設の被害金額は管内4町村で21億円余りとなりました。このうち災害申請しての査定額は合計119件、847,629千円で、特に只見町の比率が大きく、約9割を占めています。



復旧工事は全体額を平成23年度に54%、平成24年度に44%、平成25年度に2%の予算配分を受けて3年で進める予定にしております。平成23年度予算は大部分を発注し、年度繰越で農地

### 田んぼへの放射性物質の流入を防げ

県産農産物から放射性セシウムが検出されないという目標に向けて、農林水産部では、水路から水田への放射性物質の流入を防止する方策を検討しています。

既に、県内の各地域では、農家の皆様が放射性物質の付着した土砂を沈降させるために取水口に土のうを積むなどの取り組みが行われています。



### ふくしまからはじめよう。新たな『農空間』の創造

農林水産部次長(農村整備担当) 櫻田 浩二

4月に農村整備担当次長となりました。よろしくお願いたします。

その相双方の農林事務所と市・町に、全国各地から農業土木技術職員が支援に入り、ふるさとを離れ、家族と離れ、大きな力と心で復旧・復興を支えて頂いております。

東日本大震災発生から1年3ヶ月以上が過ぎましたが、原発事故で避難を強いられ、警戒区域等の指定や除染、原子力損害賠償、広域処理ができない災害廃棄物など、多くの課題を抱えたまま、避難者の帰還や津波被災地の復旧が遅々として進まない福島県では、未だに復興の未来の姿が見えません。

相双方に対する支援は、現在のとおり平成27年まで必要と考えておりますが、警戒区域の見直しによる潜在事業量もありません。業務と人員を遣り繰りして職員を派遣して頂いている関係機関の皆様には、大変心苦しいところではありますが、いまま



復旧・復興に向けた全国からの支援

福島県では、今年度を東日本大震災からの復興元年と位置づけており、本格化する復旧工事の発注・監督業務、地元調整などの業務にあたって、昨年度に引き続き、農林水産省や道県などから農業土木技術職員の派遣支援をいただいております。

平成24年度 派遣支援の状況 (H24年6月29日時点)

Table with 3 columns: 派遣先, 人数(名), 派遣元. Lists support staff from various prefectures like Hokkaido, Aomori, and Fukushima.

派遣技術者メッセージ

これまで、ご支援いただいた皆様全員を対象にアンケート調査を行いました。今回は、相双農林事務所においてご支援いただいた皆様から寄せられたメッセージの一部をご紹介します。

故郷を思う県民の皆様の素晴らしい姿や行動を拝見していつも感動しております。私は「日本が被災したんだ」と思いながらも応援させていただきます。



支援職員の皆さん (H24.6.25撮影) <相双農林事務所農村整備部>

全国に仲間がいます。一緒にがんばって！ (北海道 田中直仁さん) 「がんばろう ふくしま」の缶バッジを毎日胸につけています。 (富山県 豊本康晴さん)

トピックス

ソバ畑とクラインガルテン <ふるさと農道 鶴ヶ池地区>

南会津郡下郷町で整備が進んでいる鶴ヶ池地区は、昭和40年代に実施された国営農地開発事業による農道です。周辺はソバや野菜、牧草が作付けされ、特にソバについては団地化されています。



<ふるさと農道緊急整備事業 鶴ヶ池地区>

利用者が占有型の休憩施設「ラベ」に滞在して、農園で農業をしながら余暇を楽しむもので、地元でも農作物の栽培指導や交流イベントを企画して利用者の交流を図っています。

地域に根ざした水士里ネット「二十一世紀土地改良区創造運動の推進」

郡山東部地区は、阿武隈川右岸阿武隈山系丘陵地帯に位置し、慢性的な水不足のため営農条件が極めて厳しい状況にあります。



このため、昭和54年度より国営総合農地開発事業の採択を受け、291haの農地造成と913haの区画整理及び農業用排水施設の整備を一体的に進め、2度の計画変更を経て、平成13年度完了となりました。



大山 事務局長

飯館村の福相農園が全国2位

全国農業会議所・全国農業新発防止の「第4回耕作放棄地対策コンテスト」で、飯館村の福相農園が農園振興局長賞を受賞しました。



【農村振興課】 <渡邊代表>

ジャガイモが繋ぐ農村の絆

福岡県八女市の「八女市の農業・農村の活性化をめざす女性の会」(樋口昌子会長)より、同会会員の皆様が育てた獲れたてのジャガイモ約100kgが届きました。



温かいメッセージもいただきました 【農村振興課】

編集後記

前号に引き続き、全国からの派遣職員の皆様から寄せられたメッセージの一部を紹介させていただきます。

<金沢調整池>

参加を得て開催しました。周回道路に植栽した200本の桜は見頃とはいかなかったものの、遠くからの参加者もあり、初めての開催にしては成功裏に終わることが出来ました。



「農空間」とは... 農村において繰り広げられる農業の営み、それを支える農地や水、人々の生活、そして、美しい自然に囲まれ長い間に培われた伝統・文化などが溶けあつた空間のことです。



小高東部運動場にて(南相馬市)

Y・M